

# 我が庭畑

2013 後半

我が庭畑のブログ記事は、大変多いうえに、写真も多いので、ホームページに掲載できる容量がすぐにいっぱいになってしまう。とくに2013年は多かったので、一年を前半と後半に分けることになってしまった。今回は7～12月の記事だ。

当時は、我が庭畑づくりを始めて10年近くたったころで、庭畑づくりの全容がようやく見え始めたころだ。新規の苗を植えることに区切りが付き始め、植物を適切な形に整えることに重点を移し始めた時期だ。

2018年6月発行

## 目次

※ 掲載はブログへの公開月日順。

## 畑庭作業

パッションフルーツの人工授粉など このごろの農作業	10月22日
秋の畑作業2 アボガド インドナツメ	10月03日
秋の畑作業1 バナナ、パパイヤ、シマナなど	10月02日
バナナ育て 久々の結実——我が庭畑物語8	9月25日
ビワとバンシルー（グァバ）——我が庭畑物語7	9月20日
巨岩 石垣 自作の通路——我が庭畑物語6	9月18日
トックリヤシモドキ マニラヤシ——我が庭畑物語5	9月16日
我が家スタートとともに育つガジマルとソテツ ——我が庭畑物語4	9月13日
先住植物2 マンゴー ライチ——我が庭畑物語3	9月11日
我が畑庭の先住植物1 クロキ チシャノキ——我が庭畑物語2	9月09日
満9年が経った我が庭畑≡林の全体像——我が庭畑物語1	9月08日
芝刈り取り・雑草抜き作業 このごろの畑庭2	7月24日
植物の夏負けとレースラベンダー このごろの畑庭1	7月21日

## ハーブ

バナナミント オーデコロンミント カーリーミント ケンタッキーカーネルミント ハーブの季節17	12月27日
レースラベンダー カナリエンシスラベンダー アラルディーラベンダー ハーブの季節16	12月25日
コリアンダー カモミール ミツバ ハーブの季節15	12月23日
レモンタイム オレガノタイム クリーピングタイム コモンタイム オレンジパルサルタイム ハーブの季節14	12月21日
ステビア オカノリ アーティチョーク ハーブの季節13	12月19日
ティートリー ローレル（ベイ 月桂樹） ルッコラ ハーブの季節12	12月17日
ヤロウホワイト タンジー ベチパー ハーブの季節11	12月12日
チャービル（セルフイーユ） サラダバーネット チャイブ ハーブの季節10	12月09日
ディル フェネル（ういきょう いいちよーば） アフリカンブルーバジル ハーブの季節9	12月07日
オレンジミント カラミント マウンテンミント？ ハーブの季節8	12月05日
クミスクチン ボルトジンユ ハママーチ 薬草系 ハーブの季節7	12月04日
ローズマリー ウィンターセボリ ローゼル ハーブの季節6	11月18日
アップルミント スイスリッコラミント ジンジャーミント ハーブの季節5	11月15日
ボッグセージ メドウセージ ラベンダーセージ ハーブの季節4	11月13日
オレガノ メキシカン・スイート・ハーブ バジル ハーブの季節3	11月10日
レモンバウム レモングラス ウォールジャーマンダー ハーブの季節2	11月07日
ペニーロイヤルミント クールミント ブラックミント ハーブの季節1	11月05日
暑さと水不足をものともせず、元気なミント類	9月05日
暑さと水不足をものともせず、元気なルッコラ、レモングラス、メキシカンスイートハーブ	9月04日

## 野菜

アスパラ ラッキョウ サトイモ ミニトマト 野菜のシーズン6	12月29日
ハンダマ カンダバー ニラ リュウキュウアシタバ 野菜のシーズン5	12月25日
セロリ パセリ ツルムラ 長命百薬 野菜のシーズン4	12月23日
コスレタス 二十日ネギ わさび菜 野菜のシーズン3	12月21日
一年草の葉野菜の混植 野菜のシーズン2	12月19日
うりずんまめ モロヘイヤ なた豆 収穫完了と来年への準備 野菜のシーズン1	12月17日
ウリズンマメ、ルッコラ、カンダバー、シマナー、ツルムラ、ドラゴンフルーツの収穫	10月26日

## 草花・樹木

ピタンガ パッションフルーツ バナナ 我が庭畑の果物	12月15日
ニンニクカズラ開花 サガリバナ開花 インドナツメ開花 パパイヤはオス	11月19日
我が庭のサガリバナ (サワフジ)	7月17日
ようやくオオバナアリアケカズラ満開へ	7月01日

# 畑庭作業

## パッションフルーツの人工授粉など このごろの農作業

10月22日

中旬にはいって、ポツポツと咲き始めたパッションフルーツ。下旬には、連日数個以上の開花になりそう。毎日午後の人工授粉作業が欠かせない。現在、4本植えているが、そのうち3本の開花がスタート。もう一本は、来年からの開花になりそうだ。そして、先日5本目を植えた。数年単位で更新することになっている。

開花の話をしたら、ある人が、「春に開花するのではないですか」と不思議そうにする。年2回の開花なのだ。

他に、富有柿、シーカーサー、三尺バナナを植え付ける。

野菜として、レタス類とセロリを植える。

ハーブ野菜として、コリアンダーの播種と苗植付などを行っている。

畑に限らず、敷地あちこちに総計10匹ほどのオオジョロウグモの巣があるので、はち合わせが日常的だ。知らないうちに、私が雲の巣にかかることもある。私たちの日常生活に困る時は、移動してもらおう。巨大になって、いよいよ交尾産卵の時期だろう。



## 秋の畑作業2 アボガド インドナツメ 10月3日

今回は、果樹2本について書こう。

アボガドは、3年ほど前に鉢植えにした。順調に育ち始めたと思ったころ、度重なる台風と潮風にやられて、生きていくのが精いっぱい状態だった。鉢も小さすぎたので、大きめに植え替えた。それが良くなかったのか、それとも、6月からの少雨がいけなかったのか、葉が



すべて落ちてしまった。

ところが、一週間前に再び葉を出し始めた。こんどこそ立派に成長してくれることを期待する。現在高さ50センチ足らず。

右写真は、インドナツメだ。昨年、苗を買う時



に試食したが、リンゴのような味がした。畑に植えたが、順調に育っているように思う。蕾が膨らみ開花した。これが無事結実してくれることを祈っている。現在高さ1メートル足らず。

## 秋の畑作業1 バナナ、パパイヤ、シマナなど

10月02日

最高気温は30度前後だとしても、朝晩は25度前後と少し涼しくなり、風も秋を感じさせるものが時々吹く。2か月以上ゼロ状態だった降雨も、少雨に変わらないにしろ、少しは降り始めた。そこで、畑作業が秋らしくなってくる。

いくつか紹介しよう。

1) 果樹の比率が高くなってきている。バナナの苗を3本植えた。少雨で枯死したリュウキュウアシタバの後などだ。

2) シーカーサーが枯れたのが残念だ。原因は不明。



コンポストに入れた野菜くずから発芽したパパイヤが、その横から出てきたので、嬉しい。

別の場所からも同じように、パパイヤが出てきた。

買ってきた苗はなかなかうまくいかないが、種こぼれからは、うまくいく確率が高いのはなぜだろうか。



3) 同じように、コンポストで作った堆肥からは色々なものが出てくる。写真は、シマナ。



4) パッションフルーツが大きく成長しているが、まもなく開花し始めるだろう。

ほかにも、いくつか、種、球根、苗の植え付けを始めた。少しずつ紹介していくつもりだ。

## バナナ育て 久々の結実——我が庭畑物語 8

9月25日

台風で倒れたりして、ここ何年か、バナナ収穫ができていない。しかし、8月に結実した。正月ごろ収穫できるだろう。

バナナは、ここに住み始めた当初から、2～3ヶ所に植えている。我が庭畑の土質はクチャで、ジャーガル化した表土は、せいぜい10～20センチぐらいだった。だから、バナナを植えても、収穫もしたが、台風で倒れ、また植える事の繰り返しが多かった。

9年間、堆肥作りを含めて作業してきた結果、畑の表土はようやく30～50センチくらいになった。それでもバナナを植えるには浅すぎるので、深さ50～80センチほどの穴を掘り、大量の有機質を入れ込んでしばし寝かせたうえで、バナナを植えるという形を取るよう

にしてきた。

現在は、写真のほかに、二カ所で背丈が低いものを育てている。



## ビワとバンシルー（グアバ）——我が庭畑物語 7

9月20日

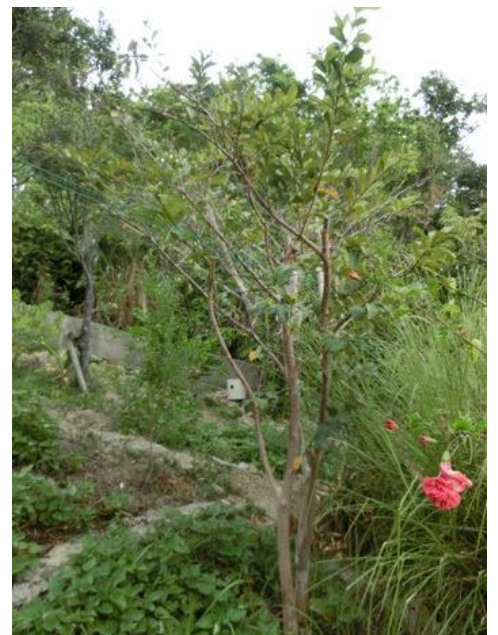
ここに住み始めてまもなく植えた果樹について書こう。マンゴーとライチは、すでに書いたように、私が植えたものではない。私が植えたものは多いが、そのなかで立派に育ち、実もつけるようになったものに、ビワとバンシルー（グアバ）がある。

双方とも、果実も美味しいが、葉が薬用効果があるというので人気がある。

ビワは、高くなると収穫が困難になるので、剪定で、2～3メートルの高さに抑えている。葉を乾燥させ、他のものと混ぜて煎じ、薬用茶として飲みはじめてから、もう数年になる。（上写真）

2011～12年の台風で果樹の収穫はダメになり、2013年もわずかにとどまった。2014年からは、たくさん収穫したいものだ。問題は、熟し始めると、鳥に食べられることだ。だからといって、早期に収穫してもダメだ。挿し木にして殖やすことにも挑戦したが、失敗した。

バンシルー（グアバ）は、花野果村で購入した台湾バンシルーだ。はじめ、中庭に植えていたが、生育環境がよくないので、日当たりのいい場所に植え替えたら、ぐんぐん伸び始め、今では高さ3メートルほどになった。2010年にはたくさん収穫したが、翌年、翌々年と台風にやられた。今年は、少雨の影響がありそうだ。（右写真）



こんな風に、果樹を楽しむことへと、我が庭畑の比重が移りつつある。

## 巨岩 石垣 自作の通路——我が庭畑物語 6

9月18日

近隣には巨岩が多く、それを敷地境界にしていることもある。我が敷地内にも巨岩が二つあり、敷地境界になっている。一つはガジマルが育っているところで、ガジマルが抱いているので、外からはわかりにくい。

もう一つが、左写真だ。地上に出ている部分は、高さ2メートル、タテヨコは、2～3メートルある。岩の窪みに土があり、そこに、ハママーチ、タイム、アロエ、ソテツなどを植えている。岩の横にも穴があり、ハブなどの住みかになりそうなので、そこに、長命草やニガナなどを植えている。

敷地が急傾斜地なので、二段に分けて平らな庭をつくるための石垣を、敷地中央に施行業者が作ってくれた。その石は、外からもちこんだものではなく、敷地内から出てきたものだ。(下左写真)



畑をつくる際にも、たくさん石が出てきた。重さ10キロぐらいのものがごろごろ出てくる。

そこで、通路にする個所にそれらを置き、上からモルタルをかけた。下右写真は、石垣の上の段から下の段への斜めの通路。私が作ったものだ。通路は、畑のあちこちに作ったが、総延長は、数十メートルになるだろう。ここに住み始めた最初のころ、ほぼ1年をかけて作った。その後、補修をしないでも使えているので、まあまあの出来だろう。





## トックリヤシモドキ マニラヤシ——我が庭畑物

### 語 5

9月16日

今回は、ここに住み始めて1～2年の間に植え付けたものを紹介しよう。まずヤシ類だ。

左写真は、トックリヤシモドキ。50センチくらいのもを買って植え付けた。現在、高さ3メートル近い。根の近くには、立派な幹ができてきている。樹齢推定11年。

このヤシは、スラッと伸び、幹が美しい。トックリヤシほど、幹が丸みを帯びるわけではないが、高くなる。かつてから、このヤシが好きで植えたいと思っていた。

2回ほど、幹が虫に食われたが、そのつど、木酢液で退治してきた。この3ヶ月の極度の小雨に、参ってきているが、なんとか頑張っている。我が家アプローチにあるので、さらに立派になることを祈っているが、年に30センチぐらいの速度で高くなる。見応えがあるほどに幹が高くなるには、あと5年は必要だろう。

右写真はマニラヤシ。高くなっても、枝葉が自然にはげて落ちてくるので、管理がしやすい。最初は50センチくらいだったが、今では3メートルを超す。現在は日当たりが悪いが、高くなってくると、日当たりがよくなり、さらに立派になるだろう。樹齢推定11年。

他にもワシントンヤシがあったが、台風でやられた。



## 我が家スタートとともに育つガジマルとソテツ

### 我が庭畑物語 4

9月13日

今回は、我が家建築のさなかに植えた木だ。だから、樹齢9年余りだ。

まずガジマル。我が敷地の南東隅に、大きな岩がある。そこに、1センチぐらいだったガジマルを発見した。それをそのまま伸ばしてきた。ガジマルだから、育てるための手入れはしていない。横に伸びて、敷地からはみ出そうになる枝や、畑を覆って、日陰を作り過ぎる枝を剪定する作業は、このところ毎年している。



今や高さ5メートル。ガジマル特有の気根も降りてきている。

前ページ写真は、横から撮影。右写真は、3階ベランダから撮影。ガジマルは我が家では一番低地になる海拔15メートル付近にあり、3階ベランダは海拔25メートル付近にあるので、上から撮影できるというわけだ。

このあたりは、神聖なる気を感じさせる、我が敷地のパワースポットだと、私たちは見ている。恵美子は時々、木の麓で瞑想する。



次は蘇鉄。家を建築する場所に5センチくらいの大きさの赤ちゃん苗があったので、それを現在の場所に植えた。敷地の南西だ。今では高さ2メートルぐらいだ。横からたくさんの子どもの株が出てくる。繁殖し過ぎなので、その半分ほどは取っている。そのうち2個は、庭の石積みあたりに植えた。それらも今では高さ1メートルになって立派だ。さらに数個を中庭などに植えた。こちらはいずれも現在高さ50センチぐらいだ。



最初に植えた木はオスで、毎年巨大な花をつける。

## 先住植物2 マンゴー ライチ 我が庭畑物語3

9月11日

マンゴーとライチは、前所有者が植えられたものをそのまま譲り受けた。

マンゴーは、金煌マンゴーといって、よくみかけるアップルマンゴーやキーツマンゴーではない。現在では、市場にもでていない。しかし、それらのものより大きくて、味も「勝るとも劣らず」だ。ただ見かけがとても地味だ。育て方も、ビニールハウスをつくらず、露地でOKでたやすい。どうして、広く栽培されないか、不思議だ。

樹齢は、20年ぐらいと推定する。写真のように、幹は太く、我が家の主木の一つだ。大きくなりすぎて、収穫不能なので、高さ5メートル以下になるように剪定している。

5、6年前から実をつけ始めた。とくに4年前は、300個も実をつけ、あちこちに送ったり、来客に差し上げたりした。その翌年は、隔年現象のためか、少なかった。その翌年、さらにその翌年は台風でやられた。今年も、潮風を浴びたためかダメだった。来年に期待している。右写真は、幹を横から写したもの





上左写真は、マンゴーを3階ベランダから写したものの。

上右写真がその一本であるライチは3本ある。推定樹齢15～20年だ。建物を建てる位置にあったので、建築前に移植していただいた。

6, 7年前から実をつけ始めた。量の違いはあるが、毎年収穫していた。しかし、2年前1年前は台風で、そして今年も台風の影響が残って、収穫できなかった。実になる芽は1年以上前につくので、台風影響が長引くのだ。来年に期待している。

高さは、4メートル前後で、必要に応じて剪定している。

## 我が畑庭の先住植物1 クロキ チシャノキ

## 我が庭畑物語2

9月09日

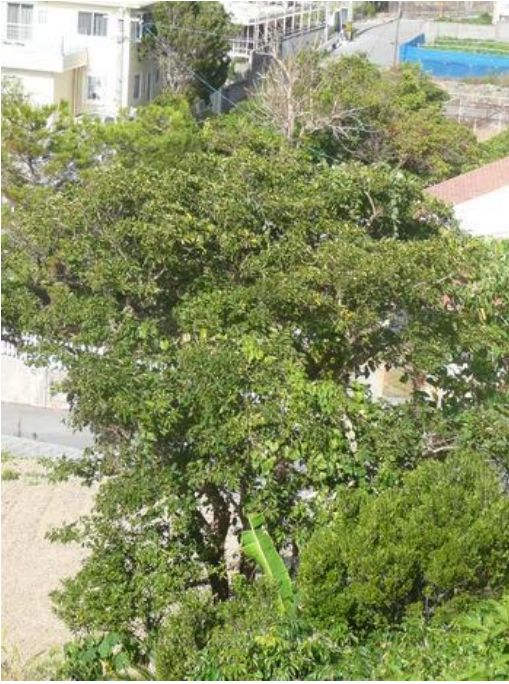
約10年前に現住地を購入し、建築準備を始めたが、その時すでに育っていた、前所有者の方が植えたものや自然に出てきたものを、2回にわたって紹介しよう。

まずクロキ（クルチ、リュウキュウコクタン）だ。前所有者の方が植えたもの、種こぼれで自然に出てきたらしいもの、総計十数本があった。建物建築敷地にあった数本は、工事会社に移植してもらった。



その後、たてこんできたので、間伐したものが数本あり、現在12本。左は、上から写したものの。右は、左のものとは別の木を、横から写した。





10年前は、高さ1～2メートルだったものが、現在3～5メートルになっている。年に30センチほど成長する。1本だけは台風で折れたが、その後回復してきている。

我が敷地の中心樹木で、上に伸びるのを抑えていないので、あと数年たつと、見た目にも、「クロキ林」風になるだろう。

チシャノキ。高さでいうと、我が家最高のブーゲンビリア10メートルに次ぐ8メートルぐらいだ。この木は近くの森にもみられるから、おそらく自然に大きくなってきたものだろう。10年前は5メートルぐらいだった。大きすぎて、枝の剪定に苦労している。隣地まで伸びるし、我が敷地の木陰が広くなりすぎるので、2年に一回ぐらい剪定している。木に登りながらの作業なので、「必死」の思いだ。強烈な蔓草がからまるので、しばしば切っている。

年に2、3回は開花する。台風で葉が飛ばされても、10日ぐらいで回復する。

## 満9年経った我が庭畑⇄林の全体像

## 我が庭畑物語 1

9月08日

2003年3月末に、夫婦そろって退職し、家建築をはじめとする準備過程を経て、2004年9月10日に、ここ玉城村（現在南城市玉城）に移った。

この地は、それまで名目上は畑だったが、ほぼ雑木林状態だった。前所有者の方が、マンゴー、ライチ2本、クロキ10数本を植えておかれたのも、そのまま引き取った。南隣はマンゴーのビニールハウス、東西は事実上の林状態、北は、道路に接していたが、我が家前で行き止まりなので、我が家来訪者以外の通行者は少なかった。

建物建築の際、土地造成工事をしないで、自然を可能な限り残すように要請した。建物建築で取りはらう必要のある樹木も、移植してもらった。

ということで、最初から、半ば林状態だった。

建物建築中から、庭畑作りの準備を始めた。それから9年間余り経ち、屋上から写した写真のような状態になった。昨年一昨年の度重なる台風襲来、この2ヶ月の雨なしの天気のため、いつもより緑が少ない感じだ。それでも、この写真では、今や「畑」は木々に覆い尽くされている。実は、あるのだが。

写真の上部三分の一は、隣のマンゴー畑。



その手前から我が敷地だ。右端の高さ八メートルの木はチシャノキ、左端の高さ五メートル余りの木はガジマル。この二つの間は、金煌マンゴー、ライチ、クロキ、さわふじなどの緑で覆われている。庭は、3階ベランダ（ブーゲンビリアが地上からここまで伸びておおっている）に隠れていて見えない。

これから、時々、我が庭畑の物語について書いていきたい。

## 芝刈り取り・雑草抜き作業 このごろの畑庭 2

7月24日

現在格闘中は、芝生の雑草抜き取り作業だ。芝刈り機がこわれたのをきっかけに、手作業で芝刈りを始めたら、雑草（名前がはっきりしない）が大量にあることを発見。芝の緑の2～3割は、これだったのだ。

一本だけ上に伸びると思いこんでいたが、芝同様、横に這うように伸びている。何年もかけて、こんな風になったようだ。



仕方がないので、手で抜き取っている。7月の庭作業時間の半分は、この作業だ。晴れて暑い日が続くので、朝夕に行く。ほぼ毎日一回とっていいほどだ。



## 植物の夏負けとレースラベンダー

### このごろの畑庭 1

7月21日

暑さと降雨量わずかのため、畑庭の植物たちも大苦戦だ。

降雨量豊富なこれまでの1年間、水まきなしできた。対照的に、6月後半からの雨なしのた

め、7月に入ってから水やりが日課になっている。

ラセン型ハーブガーデン（前ページ下写真）などに植えた苗も、いくつかがダメになった。場所によっては、「はげ頭」状態だ。

そのなかで、日陰に植えたレースラベンダー（右写真）が暑さを我慢して、なんとかやっているのが印象的だ。過去にも植えたが、夏を越えられなかった。しかし、今年はなんとか行けそうだ。植えた場所が、日陰だけでなく、コンポストで堆肥を作った後だったからか。



同じコンポストあとに出てきたパパイヤの苗も順調に大きくなっているし、トウガンも育ってきている（右写真）。蘇鉄の上に伸びて、蘇鉄を隠してしまった（左写真）。もう終わったが、



カボチャも収穫した。コンポスト効果は大きい。



# ハーブ

バナナミント オーデコロンミント カーリーミント ケンタッキーカーネルミント  
ハーブの季節17

12月27日

今回は、ミント類の第4回目だ。ミントにはたくさんの種類がある。育てている私にも、収穫後になると、見分けのつきにくいものがある。



左 バ  
ナナミン  
ト  
右 オ  
ーデコ  
ロンミ  
ント  
この二  
つとの付  
き合いは  
長く、ハ

ーブティーに入れて楽しんできた。バナナミントは穏やかな感じだが、オーデコロンミントは、名の通り香りが強い。



次の二つは、今春、新らせん型ハーブガーデンに植えたものだ。だから、私もまだよくはわからない。

左 カーリーミント  
右 ケンタッキーカーネルミント





レースラベンダー カナ  
リエンスラベンダー  
アラルディーラベンダー  
ハーブの季節 16



12月25日

寒い地域中心のラベンダーなので、沖縄では難しそうだ。それでも、いくつか苗が売られている。

とくに、上左のレースラベンダーは、沖縄でも大丈夫だという触れ込みだ。ほぼ1年前に、日陰に植えてみた。夏はなんとか越した、と思ったが、9月には枯れた。思い直して、11月に新しい苗を植えてみた。



上右のカナリエンスラベンダーは、10月に植えたものだ。なんとか育っている。

左のアラルディーラベンダーも、10月に植えて順調に見えたが、写真撮影後、急に元気がなくなっている。

コリアンダー カモミール ミツバ ハーブの季節 15

12月23日

右のコリアンダーは、昨年あたりから料理用として本格的に活用している。料理の味をととてもよくする。苦手な人もいるが、種蒔きからもできるが、購入した苗から育てる方が確率が高い。

カモミールは、我が敷地ではなかなかうまくいかない。以前、愛知の家でも育てていたが、よく育ち、翌年はこぼれ種からも育った。おそらく、愛知の家の土地が砂質で、ここが粘土質だからだろう。今は、新らせん型ハーブガーデンの一部を砂を多分に含んだものに





して、種から育てている。購入した苗からは、なぜか失敗続きだ(左写真)。



右のミツバは、野菜だと思い込んでいたが、ハーブの本にも登場する。大変強くて、毎年、自然に任せて、こぼれ種から育てていた。今年は、夏の長期の雨不足のため、なかなか発芽せず、とうとう購入した苗をうえた。そしたら、11月ごろようやく、こぼれ種からも発芽してきた。1月になれば一杯収穫できるだろう。汁ものに、おいに活用したい。



レモンタイム オレガノタイム クリーピング  
グタイム コモンタイム オレンジバルサル  
タイム ハーブの季節14 12月21日

タイムは、失敗成功の繰り返しだった。と言う事もあって



か、今では5種類も育てている。コモンタイムは種からだが、他は苗からだ。

いろいろな挑戦の結果、一応定着してきている。

中左 レモンタイム  
下左 オレガノタイム  
下右 クリーピンググ  
タイム

次ページ

上左 コモンタイム  
上右 オレンジバルサル  
タイム。







### ステビア オカノリ アーティチョーク ハーブの季節 13

12月19日

今回は、以前に失敗した経験があるものへの再挑戦の話だ。  
 まずステビア。甘味料として有名なものだ。数年前植えたが、大きくは育たず、半年ぐらいで消えてしまった。  
 ハーブティーに入れる甘味ハーブとしては、メキシカン・スイート・ハーブで十分に間に合うようになったので、しばらく挑戦しないでした。  
 新らせん型ハーブガーデンを作ったこともあり、今回再挑戦だ。植えて2ヶ月、今のところ順調。



下左のオカノリも、数年前植えたが、失敗。新らせん型ハーブガーデンで再挑戦だ。

下右のアーティチョークは、昨年、随分大きくなるまで育てて、いよいよ成功かと思う頃、雨続きによる根腐れで失敗。今年こそはと、根腐れしにくい所に植え付けた。



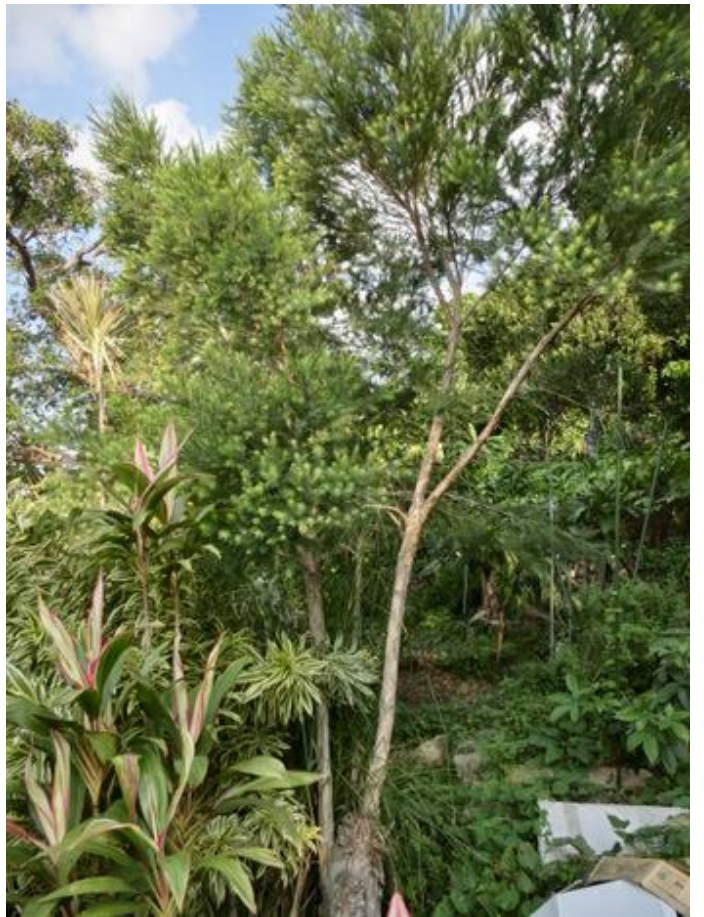
これらの成否は、春になれば分かるだろう。



## ティートリー ローレル（ベイ 月桂樹） ルッコラ ハーブの季節12

12月17日

右のティートリーは、私の最愛のハーブというかアロマというか、その一つだ。だから、付き合いは10数年にもなる長いものだ。この地に植えてからも8年になる。その後も、このブログで繰り返して紹介



したように、いろいろなドラマがあった。

台風による打撃から復活してきて、現在高さ4メートル近くに戻った。先日、久しぶりにティートリー風呂をした。枝葉を煮出した湯を風呂にいれるのだ。香りがすごい。

3月になれば、桜に匹敵する美しい花の季節だ。

左のローレル（ベイ 月桂樹）は、植えて数年になる。高さ2メートル。葉を料理用、ハーブティー用に使う。



下右のルッコラ（ロケット）は、我が家の定番だ。春に種まいて育ったものが、今もなお野菜サラダ向けに使っている。さらに10月に新らせん型ハーブガーデンに種をまいたもの（写真）も、いよいよ収穫が近づいている。





タンジー。以前育てた記憶があるが、うまいかなかった。今回、ヤロウと同じく10月に新らせん型ハーブガーデンに植えたので、立派に育つことを期待している。

下左のベチパーは、3年ほど前近くのハーブ専門「花風」



## ヤロウホワイト タンジー ベチパー ハ ーブの季節 1 1

12月12日

ヤロウホワイトは、ハーブ書には風邪対策にいいと書かれており、1～2度試した記憶があるが、まだ「どうのこうの」といえるところまで使用していない。育てる事も、1～2度だけで、大きく育てる所までは行っていない。11月に新らせん型ハーブガーデンに植えたので、立派に育つことを期待している。

虫除けによい、と言われる右の



さんから苗をいただいて、育て始めたが、すごい生育状況だ。どんどんカットして、セージ、ヨモギ、月桃などと一緒に紙袋に入れ、家のあちこちに置いて、虫除けに活用している。衣装箱にも入れている。化学製品の殺虫剤が怖いので、すべてこれらに入れ替えた。効いているようだ。

チャービル (セルフィーユ) サラ  
ダバーネット チャイブ ハーブの

季節10

12月09日

今回は、料理用ハーブだ。

まずチャービル (セルフィーユ) だが、2~3年前から愛用している。パセリの類だが、とても香がよく、大好物になった。育て方も大変簡単で、パセリと同じだ。現在11月に植えた3本を育てている。もう利用可能状態になりつつある。



中左のサラダバーネットは、何年も前から育てているが、活用がうまくないのか、好物になるほどではない。写真は11月に植えたものだ。



中右のチャイブは、何度か植えたが、定着するほどには成功していない。今回は、11月に新らせん型ハーブガーデンに植えた。今のところ順調。



ディール フェンネル (ういきょう いいちよーば)

アフリカンブルーバジル ハーブの季節9 12月07日

ディールを育てるのは2~3回目だ。10~11月ごろ出回る苗を購入して植えた。種も売っている。フェンネルとの違いはわずかのよう思う。



左のフェンネルは、沖縄でも、ういきょうとかいいちよーぼと呼ばれ、大変ポピュラーだ。写真は、新らせん型ハーブ園に11月に植えたものだ。

去年は、根元に近い茎が大きく太るフロレンスフェンネルを育てた。喉にきくといふので、それをワイン漬けにして、恵美子が愛飲している。



右のアフリカンブルーバジルは、何度も育てているが、活用が上手く出来ていない。普通のバジルと同じようなものだろう。写真のものは、今春植え付けたもの。

## オレンジミント カラミント マウンテンミント ハーブの季節8 12月5日

今回の3つは、新らせん型ハーブガーデンに育てているものだ。

まず、下左のオレンジミント。1月に植えたが、夏の水不足・暑さに参ってはいた。しかし、10月から再び元気よく生育している。

下右のカラミントは、ミントの近縁種ということだ。開花すると結構美しく、花も楽しめる。長年育てている。

次ページ上のマウンテンミントは、正体がよくわからず困っている。数年前、畑に植えたが、地道に生きていくだけでなく、かなり広がっている。今年に入って、新らせん型ハーブガーデンにも植えてみた。写真がそうだ。

なぜ「正体不明」というか、書こう。購入した時に、「マウンテンミント」という名札が付いていたのだが、





最近、これとは別の姿のものに、「マウンテンミント」という名札がついていることを発見。これも植えてみたが、今年の夏の気候のためか、ダメにしてしまった。

インターネットサイトで調べてみると、我が家で育っているものは、似てはいるが、少々異なるようだ。美しい花が特徴のようだが、我が家のものは、開花を見たことがない。気候のためなのか、やはり別種なのか、調べが必要なようだ。

ところで、ハーブの苗店にいくと、たまにだが、明らかに誤った表示に出会う事がある。お店の人も、

ハーブに慣れていないのかもしれない。

以前、ジャスミンという表示のものを購入して植えたことがあるが、我が家の植物顧問の屋比久壮実さんに、それは、ジャスミンに香りが似ているが、猛毒なのだそう。ということで、除去し、新たに「本物を」購入した。「本物」はジャスミン・マツリカで、沖縄名ではムイクワだ。今、大きくなって広がり、きれいな花もつけている。株分けして数カ所に育っている。

## クミスクチン ボルトジンユ ハママーチ 薬草系 ハーブの季節7 12月04日

薬草系について書こう。

クミスクチン ボルトジンユ ハママーチの三つを紹介するが、今回の連載では割愛させていただいたもの

のとして、  
ドクダミ、  
サンニン  
(ゲットウ)、ウツチン、ヨモギ、アロエベラ、キダチアロエ、シャボンロカイ、クコ、ピワ、バンシルーなどがある。

まずクミスクチン。





和名ネコノヒゲ。花が猫の髭ようだからだろう。生育旺盛で、我が庭畑で溢れている。大量にカットして、乾燥を始めた（前ページ右写真）。

上左写真 ボルトジンユ。高血圧に効く、というので、沖縄ではポピュラーだが、インターネットサイトでの記事は少ない。かつて、私もよくわからないので、このブログで質問の記事を書いたら、それにアクセスが殺到した。アクセスした人を落胆させたようだ。

でも、苗店などでは、よく販売されている。

繁殖力旺盛で、写真のものも、2、3本の苗が、1～2年であたり一面に広がった。

上右写真 ハママーチ。オキナワヨモギとも言われる。乾燥に強く、写真のものは、岩の上の乾燥地で繁殖している。



ローズマリー

ウィンターセボ

リ ローゼル

ハーブの季節6

11月18日

ローズマリーは、長い長いつきあいだ。この畑に植え始めてからでも8年は超す。しかし、昨年、一昨年





の台風で、いくつもやられて、旧らせん型ハーブ園で一つ生き残っただけになった。今年に入って、いくつも植えた。前ページ下左写真は、新らせん型ハーブ園に植えたもの。

前ページ下右写真 ウィンターセボリも、ここで植え始めたから何年もたつが、台風にやられて、新らせん型ハーブ園に新たに植えた。

ローゼルは、何年か前に植えたら、そのまま多年草化したり、こぼれ種から出てきたり、今年も、何か所で大きくなっている。今が開花

シーズンだ。先日、バリ島から乾燥ローゼルを土産で持ってこられた人に、沖縄でも栽培できることをお話し、花を枝ごと差し上げた。

我が家のものは、ピンクだが、黄色の花もあり、隣の農家が植えておられる。

※ 追記 2018年刊の嵩西洋子「南の島のハーブ」によると、黄色の花のものがローゼルで、ピンク色はフォールスローゼルということだ。

## アップルミント スイスリッコラミント ジンジャーミント ハーブの季節5

11月15日



ミント  
の2回目  
左 ア  
ップルミ  
ント。我が  
家ハーブ  
のスター  
トの時か  
らずっと  
生育して  
いる。あち  
こちで育  
つ。甘い香  
りが特性。



右 スイ  
スリッコ





ラミント 何年前から育てている。現在、新旧のらせん型ハーブ園で栽培。強い香り

左 ジンジャーミント 今年から、新らせん型ハーブ園で育てる。元気良く育つ。夏の暑さ・水不足で少々「疲れた」ようだったが、最近、再び元気がいい。

いずれも、ハーブティーの味と香りを豊かにしてくれている。

ボッグセージ メドウセージ ラベンダーセー

ジ ハーブの季節4 11月13日

今回は、セージ類だ。セージは、紹介する3つ以外に、いくつか育ててきた。記憶にあるのは、メキシカンブッシュセージ、パイナップルセージ、ホワイトセージ、コモンセージなどだが、このうち、コモンセージについては、数回植え付けたが、すべて上手く育たなかった。原因は不明だ。土のせいなのだろうか。

左下写真はボッグセージ。右下写真はメドローセージ。双方とも、育て始めてから7, 8年になる。湿り気が強い所で育つ。生育力盛んで、過剰気味になる。そこで、どんどん刈り取り、防虫用に使用している。

いずれも、紫色の花が美しい。



右写真は、ラベンダーセージで、今年春に、新らせん型ハーブ園で育てている。生育順調で、これまた防虫に使おうかな、と考えている。



オレガノ メキシカン・スイート・ハ

ーブ バジル ハーブの季節3 11月10日

中左 オレガノは、旧らせん型ハーブガーデンで旺盛に生育している。新らせん型ハーブガーデンでも生育している。以前に繁殖し過ぎて、整理するために、オレガノペーストを作ったこともあるが、今はハーブティ



ーに少量入れているだけだ。そろそろペーストを作らなくてはと思う。

中右 メキシカン・スイート・ハーブは、4ヶ所に盛んに繁殖している。この2年間の困難な気候にたじろぐ気配なし。ほっといても、十分に育つ。甘味料として、ハーブティーに活用。

左 バジルも定番。畑にも植えているが、料理にすぐ使えるようにと、ベランダでも育てている。畑に、こぼれ種で、新苗がでてきているのを、最近発見。

レモンバウム レモングラス ウ  
ォールジャーマンダー ハーブの  
季節2 11月07日

右 レモンバウム

中左 レモングラス



中右 ウォールジャーマンダー



暑い夏を乗り越え、涼しい気候を迎えて、さらに元気よい



3種。

レモンバウムとレモングラスは、ハーブティーの定番にしている。

多年草のレモンバウムは、数カ所に植えているが、写真のものは、植え付けてから3～4年たっている。レモングラスは、成長につれ、根が浮き上がってくるので、2～3年に植え替えが必要だが、写真のものは、今年1月に新たに作ったらせん型ハーブ園に移植したものだ。ウォールジャーマンダーは、なんども挑戦しながらも失敗してきた。らせん型ハーブ園で見事に育っている。使い方は、これから検討するところだ。

ペニーロイヤルミント クールミント ブラックミント ハーブの季節1

11月05日



我が庭畑のハーブたちは、「気候が心地良くなってきた」と叫びながら、ぐんぐん生育し始めた。久しぶりにハーブ連載をしよう。今月、南城市でハーブサミ



ットもあることだし。

まず定番のミント類から。

上左 ペニーロイヤルミント。このブログの4月27日記事「ペニーロイヤルミントで、蚊・アリ対策 夏への畑準備3&らせん型ハーブガーデンのハーブ5」は、アクセス数が500を越え、ぶっちぎりのトップだ。アリ対策にもなるというのが関心を呼んだようだ。

畑庭のあちこち数カ所に植えているが、写真のらせん型ハーブガーデンのものが一番生育がいい。他のハーブのところまで伸びたものを切って、アリ除けに、家のあちこちに置いている。



上右 クールミント 繁盛ランク第一位。あちこちに伸びて、抑えるのに苦労する状態。先日は、畑の種蒔きのために、たくさんカットした。我が家のハーブティーのベースになっている。欲しい方には、土付きの根ごと差し上げている。殖え過ぎにご用心、と説明しながら。

下左 ブラックミント 数年かけて、ようやく順調に育ち始め、ミント類繁盛ランクベスト5に入ってきた。地味だが、ミントにしては、味も濃くて、最近のハーブティーミックスの定番になっている。

暑さと水不足をものともせず、元気な

ミント類

9月05日

右 クールミント

中左 ジンジャーミント

中右 オレンジミント

下左 ペニーロイヤルミント

下右 ブラックミント



この他にも、数種類のミントが生育している。しかし、ペパーミントは、何度も植えるのだが、ことごとく失敗。土が合わないのか、原因は不明。





暑さと水不足をものともせず、元気な  
ルッコラ、レモングラス、メキシカン  
スイートハーブ

9月04日

水不足は相変わらず続く。毎夕の水やりが欠かせない。

そんな中、枯れてしまう植物が続出。でも元気がい  
いものもある。ハーブに絞って紹介しよう。

まず、驚いたのはルッコラだ。水やりさえしていれば、元気を保っている。秋～冬ほどの生育スピードはないけど、5月ごろ種蒔きしたものが大きくなってきている。



左のレモングラスは、1月ごろ移植したのだが、ようやく繁殖し始めた。

昨年からの多雨の時は、元気をなくしていたが、今は元気よい。



右のメキシカンスイートハーブ

は、雨が降ろうが降らなかりょうが、関係なしに元気がいい。とはいっても、暑さのためか、成長は緩やかだ。

# 野菜

## アスパラ ラッキョウ サトイモ ミニトマト 野菜のシーズン6 12月29日

中左はアスパラガス。夏の少雨で、今秋の収穫は少なかったが、次回に期待している。現在、三カ所で栽培。

中右のラッキョウは、作り過ぎて、食べきれず、また、植えこむことになる、という「悪循環」？のようになっている。3月ころから収穫開始。シマラッキョウとして、生で食べる。



下左のサトイモを植えたのは、だいぶ前だが、収穫と言うほどにもならず、放置していたら、何



カ所かから出てくる。こんどこそ、きちんと収穫したいと思う。

下右のミニトマトは定番になった。まもなく収穫期を迎える。



葉野菜を中心に、すでに収穫を開始しているものが多いが、1月になれば、収穫量が増えそうだ。ようやく我が畑も、畑としての役割を果たし始めたということだろう。





種は、茎葉を食べる向きに品種改良されたものだ。時々食べている。生育力旺盛。芋もつくが、小さく、芋を食べる向きではない。

下左写真 ニラも数年に一回植え替えるだけで、放置状態だが、時々切り取って収穫し、根をそのまま残しておけば、なんどでも収穫できる。畑のあちこちで育てている。



## ハンダマ カンダバー ニラ リュウキュウ

### ウアシタバ 野菜のシーズン5

12月25

日

今回は多年草で、どんな天候にも耐える強力なものたちだ。昨年からの大雨、今夏の日照りになかも生き抜いている。いずれも、植えてから、もう何年もたつ。

左写真 ハンダマ（すいぜんじ菜）は、沖縄野菜として最近人気が出始めている。我が畑でもあちこちに植えている。

中写真 カンダバー、つまりさつまいもの葉だが、この



下右写真 リュウキュウアシタバも強いが、今夏の日照りでは、かなりやられた。それでも、復活し始めた。







セロリ パ  
セリ ツル  
ムラ 長命  
百薬 野菜  
のシーズン



4 12月23日



上左 セロリは、毎年10～11月に苗を植え、1月末ごろから、外側から1枚1枚収穫していく。5月まで収穫できる。今年は、4本育てている。



上右 パセリも毎年育てている。9～10月に苗を植え、11月から始まって5月ごろまで収穫は続く。いつも、畑に育てているが、収穫に都合がいいように、今年は、ベランダのコンテナで育てている。私は、生葉のまま食べるのが好きだ。

中左 ツルムラは、ここ数年放置状態だが、いつでも収穫できる。葉野菜が少なくなる夏場も収穫可能だ。雑草状態になっているので、伸びすぎたツルをどんどん切り取っていく必要があるほどだ。いまや畑のあちこちの10ヶ所近くで生育している。

中右 以前は雲南百薬といていたが、いつのまにか長命百薬という名になっている。ツルムラそっくりだが、ツルムラほどの生育力はない。しかし、ツルムラと同じようにして育てている。現在は畑の2ヶ所だ。



レタス類は、以前は種から育てたこともあるが、成功率が低すぎるので、小さな苗を買ってきて植える事が普通になってきた。上左写真はコスレタス。他にチマサンチュ、普通のレタスも育てている。虫がつきにくいものを選んで植え付けている。

上右 二十日ネギは定番だ。収穫の際、根を残して、また植えるということを繰り返している。

中左 わさび菜は、3～4年前から試みている。ちょっとだけピリッとして、ルッコラのような感じだ。最近では、苗でも売られている。写真は、購入した苗を植えたものだ。

## 一年草の葉野菜の混植 野菜のシーズン2

12月19日

一年草の葉野菜を混植するのは、私流のやり方だ。いろいろな種類の種を混ぜて播く。

すると、条件に合ったものから発芽し成長してくる。それを間引きする要領で収穫していく。

現在は、露地数カ所、コンテナ3か所で育てている。それぞれ条件に応じて、出てくるものが異なる。だから、収穫する野菜も同時に何種類かになる。

現在、播いた種は、シュンギク、サラダ菜、しまな（カラシナ）、小松菜、イタリアンパセリ、オキダイナだ。

このうち、イタリアンパセリはゆっくり出てくるが、それ以外はもう収穫進行中だ。





手間暇かからないややかた。無論、私流の不耕起だ。種もただバラマクという感じである。

前ページ下と左写真の二つは、コンテナ植え、右は露地植え



## うりずんまめ モロヘイヤ なた豆 収穫完了と来年への準備 野菜のシーズン

1

12月17日

11月終わりには、夏野菜の収穫が完了し、冬野菜の収穫が開始している。沖縄では、本格的な野菜収穫シーズンとなる。その物語を何回か連載しよう。

最初は、収穫完了し、来年への準備をしたものだ。

まず、うりずんまめ（りゅうきゅうしかくまめ）。今年は寒さの到来が早かったのも、いつもより10日ぐらい早く、12月10日ごろ完了した。

まず、茎を根から20～30センチのところまで切っておく。来年春には、新しい芽を出す。

収穫しそこねて硬くなったさやを乾燥させて、種を取る。





前ページ下写真の種は、昨年取ったものの。

寒さの影響で、今年のもろへイヤは、11月半ばには収穫をあきら



めた。黒ずんできたさやを取って、乾かす。そこから種を取る。上左写真

上右写真 なた豆は、ウリズンマメ同様に、高さ20～30センチのところで切った。これまでのところ、収穫などという段階ではなく、数個しか収穫していないが、来年に期待する。肥料のやり過ぎに注意と本に書いてあったので、全くあげなかったためか。少しは栄養分を与えてみよう。

## ウリズンマメ、ルッコラ、カンダバー、シマナー、ツルムラ、ドラゴンフルーツ

### の収穫

10月26日

台風は去り、雨を多少残してくれた。気温もちょうど良い加減になってきた。それは、人間に取っただけでなく、植物にとってもだ。ということで、災難ばかりの長い悪天候が終わり、庭畑の植物が元気良く伸びてきた。

我が畑の野菜には、年を越して育っているものが多い。多年草が多いからだが、種こぼれも多い。写真は、数日前に収穫したもの。



左下から右方向へ説明していこう。

まず、シマナー。これは種こぼれが育ったもの。発芽して一カ月ほどで収穫に至る。場所を選ばず、あちこちから出てくる。

同じザルの中の右隣はルッコラ。春に種蒔きして育ったものが、夏を越した。大きく成長したので、外側から葉っぱを順にとっていく。この時期に収穫できるのは初体験だ。これまでは、9～10月に種をまいて、11月下旬からの収穫というのが多かった。

中央奥のザルは、カンダバー。サツマイモの葉っぱだが、やわらかい葉茎ができるように品種改良した苗を、2年前に植え付けておいた。夏の水分不足で大きなダメージを受けたが、水やりをしたことと、最近の雨で復活してきた。

右下ザルの下は、ツルムラ。何年前に植え付けたかはもう忘れた。年を越したのも落ちた種からも広がる。これこそ全く手のかからないものだ。畑庭の数カ所で繁殖している。

その上ののっているのは、ウリズンマメ。5つぐらいの苗から伸びているが、そのうち4本は昨年までのものを、そのまま伸ばしたもの。水不足で、収穫できなかったが、最近ようやく収穫開始。



この他に、はんだま、ニラ、モロヘイヤ、エンサイなども収穫している。

これから収穫盛期に入る、これらとは対照的に、最後の収穫となるのが、ドラゴンフルーツ。太陽光発電装置をつけたので、屋上の隅っこに移動したが、元気だ。毎年、10月終わりに収穫完了で、6月から再開だ。

# 草花・樹木

## ピタンガ パッションフルーツ バナナ 我が庭畑の果物

12月15日

果樹類では、今3種の収穫をしている。自家消費にも不足するぐらいの量だが。

まず中左のピタンガ。3～4年前に植えたもので、昨年いくつか収穫できたが、今年は20～30個。といっても、直径2センチぐらいなので、味見程度だ。

中右のパッションフルーツは、台風もあって、2年ぶりの収穫。新しい苗から育った。20個ほどだが、大



き目だ。だんだん黄色くなっていき、表面に皺ができてくると、食べごろだ。左から、熟している順に並べてみた。



バナナも、台風があって、久しぶりの収穫。一つの房には、数えてみたら50本近くだ。黄色くなり熟すまでに、あと10～20日必要だ。現在6本植え付けているので、来年の後半以降を楽しみにしている。

ニンニクカズラ開花 サガリバナ

開花 インドナツメ開花 パパイヤ

はオス

11月19日

ニンニクカズラの開花。昨年植えた。立派に開花。今後もっともっと広がれば、この季節の我が家代表の花になりそうな気配だ。近隣の垣根にも咲いている。



サガリバナがまたもや開花。もう開花季節は

終わったと思っていたのに、いまごろ数カ所に咲いた。寒さのためか、朝になっても落ちずに咲いている花

を撮影した。



余談だが、10月上旬から始まったパッションフルーツ開花が、まだ続いている。収穫も多分年末年始から2月までの長期間になりそうだ。

右はインドナツメの開花。昨年植えたのが定着して、立派にたくさん開花。昨年も少しは咲いたが結実にまで至らなかった。今年は期待している。



久しぶりに立派に育ってきたので、実ることを期待したパパイヤだが、咲いた花はオスだ。残念。もう一本もオスのようだ。がっかり。台風の影響もあって、失敗続き。

他に、こぼれ種から育ってきた苗がありはするが、悔しいから、苗店から苗を4本購入して植えた。

## 我が庭のサガリバナ (サワフジ)

7月17日

右の写真は、午後8時30分撮影。

中左は、その1時間前の7時30分撮影  
蕾がふくらんではいるが、まだ開かない。

中右は8時。開花直前

そして8時30分には開花

この他に蕾がついているのは、別の木の一房だけ。今年ももう最後だろう。

木の高さは、4メートルと3メートル。来年さらに1メートルずつ伸びるだろう。そして、6～7月は毎晩のように花開くと期待している。







## ようやくオオバナアリアケカズラ満開へ

7月1日

昨年9月末の台風で、玄関通路の橋につくっていたアーチが、オオバナアリアケカズラもろとも大被害を受け、全部取り除く羽目になった。その影響が大きく、例年5月初めには咲く花が、今年は6月下旬初開花となった。それでも天候がいいので、7月中旬には満開状態になりそうだ。

37年前に西原に住み始めて以来、我が家で一番活躍してきた花だろう。

玄関から見た我が家のアプローチ光景だ。橋になっているが、右側がオオバナアリアケカズラ（後ろにはフウリンブツウゲ）、左側はキバナタイワンレンギョウ（写真では切れているが、その後ろには、ハイビスカス・トックリヤシモドキ・ジャスミンマツリカ）。

盛夏の花のシーズンになり、蝶々がいつも舞っている。蝶々の連載ができればいいな、と思うが、撮影に工夫が必要だ。